町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回

第４５４号

5
2006







「佐久間ダム　おお花見」

鋸南町消防団 新体制スタート

新団長に平島 博幸氏

〔新団長あいさつ〕

4月1日をもちまして、鋸南町消防団長を拝命いたしました。

社会情勢が日々変化する昨今、防災上の様々な諸問題がございますが、まずは住民の生命、財産を守るべく、最善を尽くして参りますので、消防力の強化・消防体制の充実等に対し、絶大なるご支援とご理解をよろしくお願い致します。

分団幹部の諸君。君達の使命は住民の負託に答えるべく、日頃から訓練に訓練を重ね、精神・身体を鍛えあげ、多様化する災害に備えて、日々努力していただきたいと思います。

また、分団のリーダーとしての自覚を持って、消防団活動に従事し現場では団員を一致団結させ、被害を最小限に食い止めるべく、ご尽力をいただきたい。

私ども本部新体制となり、誠心誠意、がんばって参ります。

しかしながら、諸君の協力無くして、円滑な団の運営はありえないと思っております、共に協力し、これからよろしくお願いします。

最後に、住民の生命を守ると同時に、何よりも各分団員一人一人の『最善の安全』を考え、消防・防災活動にあたって頂くことをお願いし、簡単ですが私のあいさつとさせて頂きます。


石﨑副団長


大胡副団長


平島団長


宇部副団長

消防本部

団　長　平島　博幸（竜　島）
副団長　宇部　好弘（本郷上）
副団長　大胡　昌広（中佐久間）
副団長　石﨑　文久（大帷子下）

女性消防団（21名）


金子たつみ
部　長
（中　原）

班　長　川名美津子（本郷浜）
班　長　金木　久子（本　郷）

第一分団（分団員58名）


里見　和人
第１分団長
（田　町）

副分団長　白熊　剛（本　郷）
部　長　日暮　一貴（本　郷）
消防班長　松尾　知治（仁　浜）
給水班長　佐々木真吾（竜　島）
破壊班長　松山　守（竜　島）
連絡班長　福岡圭一郎（内　宿）
警備班長　高橋　智也（竜　島）
救護班長　出口　恵一（本　郷）

第二分団（分団員37名）


石井富士男
第２分団長
（中佐久間）

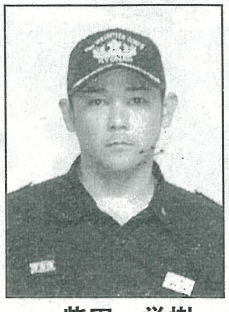
副分団長　齋藤　憲夫（中佐久間）
部　長　石井　寛章（中佐久間）
消防班長　三瓶　洋（上佐久間）
給水班長　中山　昌秋（中佐久間）
破壊班長　吉田　修一（奥　山）
連絡班長　安田　雅之（上佐久間）
警備班長　金木　守（中佐久間）
救護班長　高橋　伸行（上佐久間）

第三分団（分団員37名）


渡邉　純一
第３分団長
（元　名）

副分団長　山野井和宏（元　名）
部　長　齋藤　正樹（大帷子上）
消防班長　野中　新吾（市　井原）
給水班長　松本　稔（芝　台）
破壊班長　川名　清（本郷浜）
連絡班長　岩崎　喜実（元　名）
警備班長　渡邉　雄二（小保田）
救護班長　小川　亮一（中　原）

第四分団（分団員32名）


柴田　栄樹
第４分団長
（吉　浜）

副分団長　寺本　俊（大帷子下）
部　長　仲野　潤一（吉　浜）
消防班長　石井　久晴（大　六）
給水班長　秋良　毅己（吉　浜）
破壊班長　相川　恭規（吉　浜）
連絡班長　笹生　昌宏（大帷子下）
警備班長　石崎　智（大帷子下）
救護班長　仲野　正弘（大帷子下）

文芸

着のみ着のまま
避難所へ身を寄する
大き余震に戦くひとら
富永　ふみ

早春の野道をゆけば
ふきのたう昨日の場所に
今日も摘みたり
中村　ひろ子

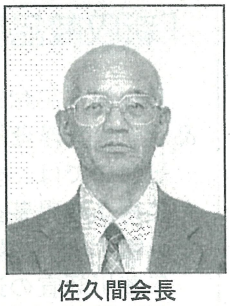
ひらひらと
桜花舞い散る樹の下で
花見を楽しむ我が娘の笑顔
馬場　喜久男

役　職	区　名	氏　　名	役　職	区　名	氏　　名
	本郷浜	岩﨑 誠一		横　根	金木 伸夫
理　事	中道台	天野 久夫		大　崩	山崎 敏雄
理　事	芝　台	米山 昭夫		奥　山	石田成明
	中　原	大胡 雄三	会　長	上佐久間	佐久間喜市
	本郷上	吉田 穣一	理　事	中佐久間	金木 幸雄
	大帷子下	大胡日出生	副会長	両　向	富永 洋雄
	大帷子上	髙橋　弘	理　事	本　郷	永井 利雄
	元　名	小滝 健司		田　町	三瓶 倫夫
	江　月	吉本 行男		竜　島	久保田賢一
副会長	吉　浜	笹生　榮		町	鈴木 秀幸
理　事	大　六	石井　宏		内　宿	福岡 松一
	小保田	川名　直		仁　浜	佐久間泰夫
	市井原	矢生 茂美	理　事	岩井袋	小澤 政一

平成１８年度区長が決まる


富永副会長


笹生副会長


佐久間会長

鋸南町２６区の区長が一同に会する区長会初会議が４月１４日に開催され、平成１８年度の区長会の役員が決定しました。会長には上佐久間区の佐久間喜市区長が、また他の８名の役員（左表・敬称略）も選出されました。何かとご苦労の多い重職ですが、町民のみなさんのために１年間よろしくお願いします。

ご入園・ご入学おめでとうございます

さくらの満開の４月、幼稚園・小学校・中学校で入学（園）式が大勢の来賓や保護者出席のなか、執り行われました。

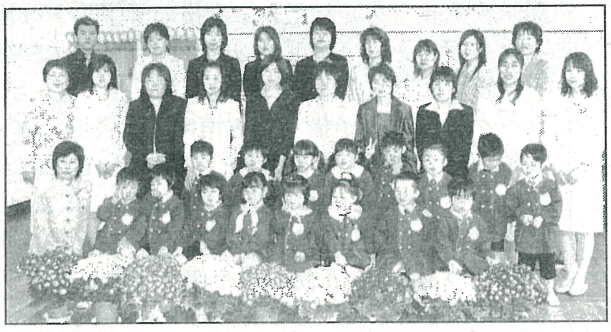
入園式では、先生に名前を呼ばれた園児は「はーい」と元気に返事が出来ました。

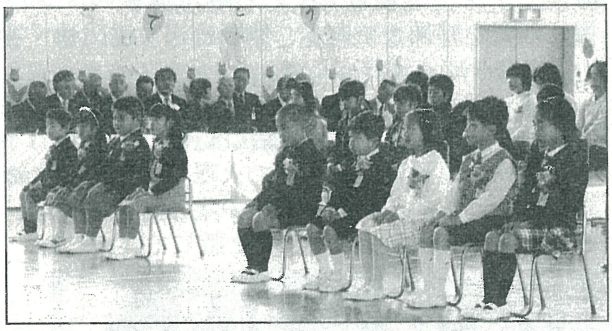
入学式では、これからの学校での生活に期待と不安からか緊張した面持ちで式に望む姿がありました。


鋸南中学校　８５名入学


保田小学校　１８名入学


勝山小学校　３７名入学


勝山幼稚園　３３名入学


佐久間小学校　９名入学



佐久間幼稚園　６名入学


保田幼稚園　２０名入学

「新収蔵品展 肉筆浮世絵の世界」開催

菱川師宣記念館では、６月１８日（日）まで、「新収蔵品展　肉筆浮世絵の世界」を開催しています。

記念館では、作品購入のために寄付金を積み立てていた美術品取得基金から２００万円をとりくずし、肉筆画掛け軸13点を購入しました。

伝菱川師宣の遊楽図三幅をはじめ、宮川長春、懐月堂派、歌川派、葛飾派などの美人画で、江戸期の肉筆美人画の流れをうかがえる作品を中心にそろえました。

また、１６年度「江戸の花鳥画展」での借用先である柏市の摘水軒記念文化振興財団より、貴重な江戸初期の肉筆屏風など１０点が記念館に寄託されました。

江戸初期に京都で流行した風俗図屏風が、江戸に移って、菱川師宣により浮世絵として開花し、その後、多彩な絵師が登場し、色鮮やかで、その時代時代の美人を描き隆盛した肉筆浮世絵の世界を紹介する展覧会です。

この機会にぜひご来館下さい。



「文書く美人図」常満

女子バレーボール大会で優勝

４月９日（日）袖ヶ浦市体育協会が主催する一般女子オープン大会が袖ヶ浦臨海スポーツセンター体育館で行われました。

大会は家庭婦人９人制ルールで行われ、鋸南町Ｂ＆Ｇ海洋センターで練習している鋸南体協のメンバーで出場。日頃の成果を発揮し、熱戦の末、初出場・初優勝という快挙を成し遂げました。

出場したメンバーは「皆で力を合わせて、結果が出たことはなにより嬉しい」と話してくれました。

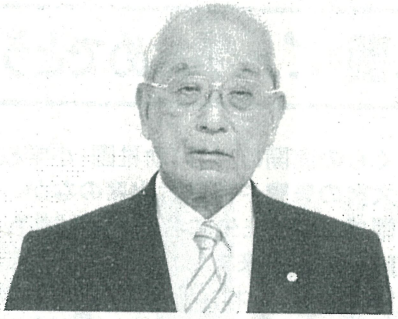
毎週Ｂ＆Ｇ海洋センターで火曜日と土曜日に練習しているバレーボールが好きな人の集まりですので、参加を希望する方はお集まり下さいと話していました。



土地改良区推薦で農業委員に中山佐久夫氏新任

農業委員会等に関する法律の一部が改正され、「農地整備事業と一体的に農地流動化の調整を実施するなど構造的な関わり」を踏まえ、「担い手に対する農地の利用集積等の構造政策を推進する上で有効」との趣旨から推薦団体委員については、従来の農業協同組合、農業共済組合に加え土地改良区が追加されたことにより、鋸南土地改良区の中山佐久夫さんが農業委員として推薦され４月１日付けで選任されました。

（任期　平成１８年４月１日から平成１９年５月１３日まで）



新たに農業委員になられた中山佐久夫氏

お花見ハイキング

春といえば桜、桜といえばお花見、お花見といえば佐久間ダム、ということで今年は桜まつり期間中、お花見ハイキングを実施しました。ダム湖周辺に咲くしだれ桜・染井吉野、ぼたん桜を眺めながらハイキング。今年から水管橋を通ることができ、橋の上から眺める桜もまた格別。ぐるっと湖畔を一周したあとは、芝生の上で地元特製お花見弁当をいただき、食後のデザートは甘夏狩り。花より団子という言葉がありますが、その両方を味わい、最後は笑楽の湯でお花見風呂。花・食・風呂・川崎トークこの４つが揃った鋸南町のお花見ハイキングに参加者は大満足！春の恒例行事になりそうです。話しは変わりますが、このお花見が広く庶民に広まったのは江戸享保期。８代将軍徳川吉宗が今でいう「地域振興政策」のひとつとして、花見の場を作り奨励したそうです。ハイキングをとおして、地域に眠っている資源や人材を発掘し、新たな観光に繋げていきたいと思っています。

今後も大勢の参加をお待ちしています。



つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（50）

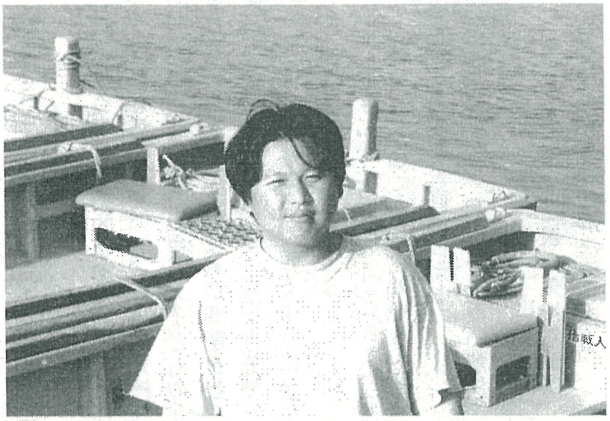
町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。

①金谷の里の厨房を経て、現在炉ばた焼き　萬寿山でお世話になっています。バスツアーで来られる人に炉ばた焼きの魚介類や野菜をお客様の目の前で焼き、食べて頂くお仕事です。趣味は独身時代に習ったお菓子作りです。
②なにも出来なかった娘も若くして結婚し、どうなることかと思っていたけど孫も１才になり、この４月から保育園に入ります。娘も働き親子３人で頑張っている姿を見ると一歩一歩親に成長していく姿が、微笑ましく見えます。
③町政に望むことは、高齢者や若い人達のことはもちろんですが、この町には子供たちがのびのび外で遊べる場所がないように思います。他の地区には、いくつかの公園があり親子いっしょ、又、お祖父さん、お祖母さんと楽しく遊んでいるのを見かけます。このような場所があれば、交流も深まり親子とのスキンシップにもなると思います。



井関　清子さん（本郷上区・パート）

次回は三瓶　友子さん（本郷上区）へバトンタッチされます。



和田　義和さん（内宿区・自営業）

次回は青木　崇さん（両向区）へバトンタッチされます。

①鋸南に帰って来て、もうじき５年になります。実家が釣具とカセ釣りをやっています。現在は船頭として家を手伝っています。仕事は主にカセ船を釣りのポイントに連れて行き、カセ船をイカリやロープで固定して釣りを楽しんでもらい、時間になればお客様を無事に陸の上へ連れて帰ることです。趣味は小中高と続けている卓球です。
②今月、ようやく家が完成しました。新しい家に住んでみて前の家とは違うんだなと思い、前の家のことを思い出します。家が取り壊されるまで寝起きしていた物置にはもう寝たくないです。
③子どもたちからお年寄りまで、鋸南町に住む人たちにとって住みやすい町であってほしいです。

※カセ船釣り・・カセ船（カキ棚のロープに船外機の付いてない４～５㍍の船を流されない様につないだもの）

善意の寄付

松田 誠さん　５０，０００円　勝山小学校建設基金寄付金
三浦 昭雄さん　３０，０００円　社会福祉寄付金
（財）日本釣振興会　千葉県支部　２４０，０００円
水域環境クリーンアップ事業賛助金
亀田酒造㈱　１８０，０００円　美術品取得基金
明日の鋸南町を考える会　１０３，５００円
勝山小学校建設基金寄付金



財）日本釣り振興会千葉支部の森川支部長から水域の環境保全に役立ててほしいと賛助金が町長に手渡されました。

家庭教育通信 すくすく No.58

『子どもに愛が伝わっていますか？』

今月は、先月に引き続いて、親業インストラクターの吉岡氏のお話の中から、親が子どもによく言ってしまう言葉で、子どもに愛情が伝わらない例やコミュニケーションのコツについてお話したいと思います。

○12のお決まり型

子どもが「学校に行きたくない」と言ってきたらどう答えますか。

①【分析】学校の成績が悪いから行かないの？

②【同情】明日はいいことあるかもよ。

③【尋問】いつからそう思っているの？先生とはうまくいっているの？

④【ごまかし】その話はもうやめようよ。明日になったら気が変わるかもしれないよ。

⑤【命令】そんなこと言わないで、さっさと行きなさい。

⑥【強迫】学校に行かないならお父さんに言うわよ。

⑦【説教】学校へは行くべきよ。

⑧【提案】担任の先生に　相談してみる？

⑨【非難】すぐ弱音を吐くんだから。

⑩【講義】嫌だと思うから嫌になるんだよ。

⑪【屈辱】お前は相変わらず甘ったれだね。

⑫【同意】じゃあ、行かないでもいいわよ。

日常子どもによく言ってしまう言葉かと思いますが、こういった対応をすると、子どもは反発したり、やる気をなくし、コミュニケーションをあきらめてしまうことがあります。お説教の多い親に対して、子どもは、「どうせ、親に言っても・・」と心を閉ざしてしまいます。愛情として子どもに伝わらないコミュニケーションになってしまいます。

○コミュニケーションの基本

（三つのコツ）

一、聴く事（能動的な聴き方）

子どもが心を開いて、本当の気持ちが話せるように接し（子どもの心の声を聴く）子どもが問題を抱えて悩んでいるときには、自分でその問題を解決できるように手助けをする。

二、話すこと（メッセージ）

親は子どもに自分の気持ちや考えを素直に正直に伝える。

三、対立を解く（押し付けない解決法）

子どもの要求と親の気持ちが折り合わない場合の解決策を探る。

子どもの心を理解し、心の通い合う温かな親子関係をきずくためにも、コミュニケーションの三つの基本を心がけていきたいものです。

わが子が赤ちゃんだった頃を思い出してください。泣いている赤ちゃんの、泣き声だけで「お腹が空いたのかな？」「おしりが濡れたのかな？」と一生懸命耳を傾け、泣き声から子どもの訴えを理解しようとしていたと思います。子どもが成長するとだんだん耳を傾けなくなっていませんか。子どもは大きくなっても、親に自分のことを解ってもらえることは嬉しいものです。

親子でも年齢が進むにつれ、モラルや価値観に温度差がでるのはある程度しかたのないことです。しかし、親の愛情、価値観、思いを子どもに伝えていくことは大事なことです。

子育てはいつもこれでいいのかと不安がつき物です。しかし、子どもの成長を日々実感できることは親にとって喜ばしいことです。子どもの言葉に耳を傾け心が通じ合えるコミュニケーションは温かい親子関係の秘訣です。

教育委員会では、子育てや家庭教育について学ぶための講座を実施しています。また、家庭教育に悩みをお持ちの方のための相談窓口もあります。詳細については、教育委員会にお尋ね下さい。

教育委員会　生涯学習室
電話55－2120

健康通信

「子宮がん検診」

子宮がんには、子宮頸部がんと子宮体部がんがあります。がんが子宮入り口付近に発生するのが子宮頸部がんで、子宮本体にできるのが子宮体部がんです。発生場所だけでなく「がん細胞」の種類も異なります。そのため治療法や経過も異なります。

子宮がんの約7割が子宮頸部がんで40歳前後の方に多く発症しますが、最近は20・30代にも増加傾向がみられます。そこで厚生労働省は、子宮がん検診の対象者を「20歳以上の女性」としています。

子宮頸部がんの原因の多くはヒトパピローマウイルス（ＨＰＶ）感染によるものです。ＨＰＶは性行為感染症の一種であり、感染は拡大していると考えられています。しかし感染しても子宮頸部がんにならない方もいます。

子宮頸部がんは子宮入り口付近で発症するため、検査も簡単に実施にできます。その方法は、子宮頸部の粘膜を専用の綿棒で拭い取って、その細胞を検査します。細胞の状態を「クラス分類」で判定します。大まかな説明をすると、クラスⅠは正常、クラスⅡは少し変化のある細胞があるが良性、クラスⅢは細胞の異形成（前がん病変）がみられ場合によっては悪性の可能性あり、クラスⅣは早期がんの可能性あり、クラスⅤは進行がんの可能性あり、となります。クラスⅢ～Ⅴが精密検査の必要なクラスです。クラスⅢ以上は検診受診者３００人に一人程度といわれます。子宮頸部がんの発見は検診受診者１０００人に一人程度です。また、発見されたがんの中で早期がんの割合は7割に近く、早期がんはほぼ１００％治癒が期待できます。最近は子宮を残すことを希望する方も増えており、レーザー治療や子宮頸部の円錐切除術で子宮を温存し、治療後の妊娠出産も可能になっています。

どのがんにもいえることですが、症状が出てからでは手遅れになりがちです。若いうちから症状がなくても、すすんで検診を受けましょう。

（保健福祉課健康推進室）

資料館 歴史

お伊勢参り(5)

●連載166

豪勢づくしの伊勢詣で

いよいよ伊勢国に入った泰輔一行。松坂では、江戸の三井越後屋（三越）の本店の前を通り、繁盛する町並みを見つつ山田へ。街道はしだいに華やかさを増してきます。東国人に比べると、上方から来る人は、格好も派手で、そろいの着物や鳴り物入りで来ることが多かったそうです。京大坂あたりの若い娘たちでしょうか。集団で華やかに着飾り、ひしゃくを持って、伊勢音頭を歌いながら通るのを、一行、しばらく見とれてしまいます。

「ちらほらとここにひと組娘子のひしゃくに笠も見よし野の花」

参拝者のために無賃だった宮川の渡しを渡れば伊勢神宮のある山田です。出立から二十四日目。まだ日の高い七つ前（午後四時頃）に御師、榎倉義太夫の坊に着きました。

ここは房州一国の坊で、山内には約八百坊。房州の人が伊勢参りをすれば、必ずここに泊まることになります。御師が出迎え、下へも置かぬもてなしぶりです。

伊勢の食事、特に御師宅での料理は豪勢なことで知られていました。

朝から二の膳つきで酒も出ます。夕食は三の膳までであり、そのうえ引き出物までつきます。鯛に鮑、伊勢海老まるごと一匹。吸い物に煮付け、酢じめなど、普段では食べられない山海の珍味が次から次へと出ます。

夜具は絹布団。参宮には毛氈を敷いた駕籠で移動。昼食は御師が用意したこれまた豪勢なお弁当が手配されています。

まさにいたれりつくせりの超ＶＩＰ待遇。たいていの旅人は、これに度肝を抜かされます。

まあ、それだけ大金もかかるわけですが、それに換えても伊勢参りは、この世の極楽を感じさせてくれる一生に一度の散財だったのです。御師にしても、彼らが国に帰ってこれらを吹聴してくれれば、参詣者もさらに増えるというわけです。

お杉お玉のバチさばき

伊勢の楽しみは、これだけではありません。外宮から内宮への道筋にある古市。ここは旅人がこぞって繰り出した歓楽街です。五大遊郭の一つに数えられた古市の妓楼では、仕掛け舞台の大広間で、遊女たちによる伊勢音頭ショーが、毎夜、華やかに繰り広げられ、辻では、お杉お玉の美人芸人が、三味線をひきながら、客の投げる銭をバチで受け止めて拍手喝采。芝居小屋では連日、歌舞伎の興業と、まさに伊勢国テーマパークです。



「宮川の渡し」

坊で饗応を受けた泰輔一行は、翌二十四日、用意された毛氈座布団の敷かれた駕籠で、手代一人を案内に添えられて山めぐり。本宮・内宮から末社四十社を参詣しました。途中、お杉お玉にも出くわしています。

三味線をひく愛らしい若い娘二人に、参詣客が銭を投げ与えますが、彼女たちは器用にバチで受けます。なんとか顔や手に当てようとして、五十文百文づつかんで投げますが、ことごとく受けそらす巧みさに感心する泰輔でした。

（続く）

生涯学習 みんなで学ぼう

「サークル誕生」



楽しい雰囲気で制作中

パッチワーク友の会は、平成１７年度に公民館で実施した教室の中から、「もっと続けたい」という人たちが集まって結成されました。

色柄の違う小布をはぎ合わせ、様々な模様を作りだすパッチワーク。魅力は、色合いを考えながらひと針ひと針丁寧に布をつなぎ合わせ、完成した時の達成感は、何とも言えないとの事・・・

皆さん真剣に、また、穏やかな気持ちで作品に取り組んでいます。

新しい仲間も歓迎していますので、私もやってみたいという方お問い合わせ下さい。



１針１針丁寧に

問い合わせ先　５５－４１５１　中央公民館

わんぱく登場



颯　太くん（０歳１０カ月）

〔三瓶　洋さん　第１子　田町〕

僕はママもビックリのビッグベビーでした。「そしてどんどん大きくなってギネスに挑戦！」…という訳ではなくサイズはやや大きめってとこです。生まれる前に大きく育ったのはママのおなかの居心地がよかったのとパパ似ということみたい。近頃はバンザ～イなんかもできて素敵なお節句になりました。

桜だより

～ おお花見 ～

4月2日、今年も佐久間ダム湖で、盛大に「おお花見」が行われました。

今年は、桜もちょうど満開で訪れた人たちも、ダム湖いっぱい広がる桜に、見入っていました。

この日だけで、車1412台観光客3675人が花見見物に訪れました。

一番のメインともなる都市と農村交流広場では、出店が立ち並び、イベントでは、フラダンスやまつり太鼓等も行われ賑わいを見せていました。

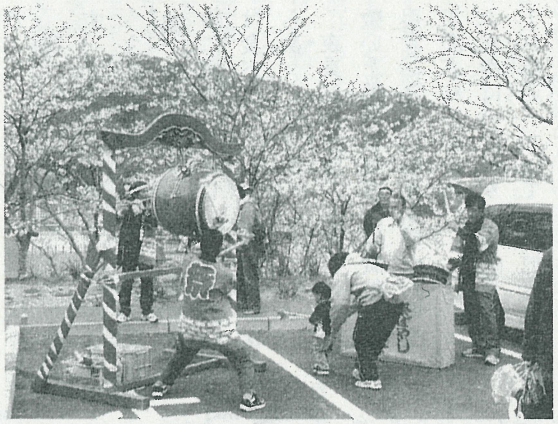
佐久間ダム湖は、ダム周辺が桜に囲まれており何処へ車を止めても花見見物が出来るため、一方通行の周辺道路もかなりの渋滞が見られました。

また夜桜が観賞できるようライトアップも行われ、桜を包み込むように、闇に浮かび上がった光が幻想的な様子をかもし出していました。

3月25日から4月16日までの桜まつり期間中に佐久間ダム湖を訪れた人は約15000人を数え、100台を超える観光バスツアーも来訪しました。

ダム湖周辺では遊歩道の整備も進められており、2月から咲く早咲きの頼朝桜や、そのあとに咲くソメイヨシノ・枝垂れ桜など長い期間で桜を楽しめる他、秋にはモミジやヤマボウシ等がダム周辺を鮮やかな色彩にしてくれます。

佐久間ダムで季節の息吹きを感じてみてはいかがでしょうか。



桜の下でのまつり太鼓

B&G NEWS

◆温水プール開館時間
　10：00～21：00
　※12時～13時・17時～18時は休憩
◆休館日　　月曜日
◆プール利用料金
（町民）小中学生　200円
　　一般　　400円
※幼児は無料

4月2日に鴨川市で行われたKCCキンダーフェステバル水泳大会に、B&G海洋センターで練習をしている4名の選手が出場しました。

日ごろの練習の成果を発揮し、大会新記録をはじめとする素晴らしい成績をおさめました。

≪出場選手≫　田村　光　　保田小
　　鈴木　峻介　保田小
　　高橋　愛　　保田小
　　花井　沙樹　岩井小



あの子もこの子もきょなんの子

（3月24日から4月25日迄の届分）おめでとう！

名　前	生年月日	両親の名前	地　区	わが子へのメッセージ
☆郡嶋（ぐんじま）　晃悠（こうゆう）くん	平成18年3月17日	泰　威・清　美さん（第2子）	町	兄弟仲良く元気に大きく成って下さい
☆伊関（いせき）　愛輝（あき）ちゃん	平成18年3月20日	隼　人・裕　美さん（第2子）	田　町	元気に育ってね　お姉ちゃんと仲良くね
☆舟賓（ふなとみ）　蓮（れん）　くん	平成18年3月24日	康　弘・微　笑さん（第1子）	田　町	元気に育って下さい
☆中山（なかやま）　大輝（はるき）くん	平成18年3月28日	好　徳・微笑子さん（第1子）	竜　島	元気な子に育って下さい
☆片倉（かたくら）　光稀（こうき）くん	平成18年4月　1日	秀　彦・　香　さん（第1子）	元　名	明るく元気に

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。

一部希望に添えない場合もあります

◇総務企画課 広報係
電話55－4801

人の動き・・・・・

世帯数	3，765世帯	（＋13）
人　口	9，982人	（－35）
うち男	4，810人	（－23）
女	5，172人	（－12）

4月1日現在（前月比）

編集後記

「佐久間ダムお花見公園」で開催された「おお花見」に行ってきました。整備されたダム湖周辺に見事な桜が咲き、桜の見所になっています。

おお花見は「おお花見実行委員会」が主催して出店やイベントを行い、当日は多くの人で賑わいました。今年桜を見ていない方は、来年は是非、佐久間ダム湖に行って桜を見て下さい。

（K）